

2011年度

科目名	医療情報薬学 I				
担当教員	小川 雅史、小西 廣己、初田 泰敏				
配当	薬科4		コード	53071	
開期	前期	講時	金曜日3限	単位数	2
授業テーマ	医薬品情報の収集・評価・活用				
目的と概要	薬物治療に必要な情報を医療スタッフまたは患者に提供するため、医薬情報の収集、評価、整理、加工等に関する基礎知識を修得し、それらを活用するための基本的技能と態度を身につけることを一般目標とする。				
成績評価法	平常点(レポートなど30%)、試験成績(70%)を総合評価する。				
テキスト	医薬品情報学 栄田敏之、他編集(廣川書店)				
参考書	医薬品情報学 山崎幹夫監修(東京大学出版) スタンダード薬学シリーズ6「薬と疾病Ⅲ薬物療法(2)および薬物療法に役立つ情報」日本薬学会編(東京化学同人) 医薬品情報学—基礎・評価・応用— 折井孝夫編(南山堂)				
履修に当たっての注意・助言 /準備学習	薬学生として常識ある真摯な学習態度・参加を求めます。				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コアカリ対応番号	学習領域
1	講義	医療と医薬品情報 (小川担当)	①医療における医薬品情報業務の必要性と概要を説明できる。	C15(1)	知識
			②医薬品としての必須の情報を列挙できる。		
			③医薬品情報にかかわっている職種を列挙し、その役割を説明できる。		
2	講義	医薬品情報の発生と伝達 (小川担当)	①医薬品の開発過程で得られる情報の種類を列挙できる。	C15(1)	知識
			②医薬品の市販後に得られる情報の種類を列挙できる。		
			③医薬品の開発から市販後調査までの過程で収集される情報の伝達のされ方を概説できる。		
3	講義	医薬品情報源の種類と特徴 (小川担当)	①医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。	C15(1)	知識
			②厚生労働省、製薬企業などの発行する資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。		
			③医薬品情報源としての代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴と加工度の違いによる使い分けを説明できる。		
4	講義	医薬品添付文書の見方、読み方 (小川担当)	①医療用および一般用医薬品添付文書の法的位置づけと用途を説明できる。	C15(1)	知識
			②医療用および一般用医薬品添付文書に記載される項目を列挙し、その必要性を説明できる。		
			③添付文書に特異的な用語(適宜増減、禁忌、緩徐など)の意味を説明できる。		
5	講義	医薬品インタビューフォームの見方、読み方(1) (小川担当)	①医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。	C15(1)	知識
			②インタビューフォームの項目や用途について添付文書との違いを説明できる。		
			③先発医薬品と後発医薬品のインタビューフォーム項目の違いを説明できる。		

6	講義	医薬品インタビュー フォームの見方、読み方(2) (小川担当)	①インタビュー形式の項目の利用法が説明できる。 ②医薬品添付文書と医薬品インタビュー形式の使い分けができる	C15(1)	知識
7	講義	医薬品の安全性情報 (小川担当)	①市販後の医薬品安全性監視の制度と提供される情報源を挙げることができる。 ②有害作用、有害反応、副作用の違いを説明できる。 ③過去に発出された緊急安全性情報について、該当薬剤と内容を概説できる。	C15(1)	知識・技能
8	講義	医薬品情報の検索・ 収集と評価 (小川担当)	①目的(効能・効果、副作用、相互作用、葉剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる ②代表的な医薬品情報源の基本的な検索法について説明できる。 ③医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。	C15 (1)	知識・技能
9	講義	医薬品情報の加工 と提供 (小川担当)	①医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる。 ②医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する。 ③おもな医薬品の提供手段を列挙し、それらの特徴を説明できる。	C15 (1)	知識・技能・態度
10	講義	医薬品情報データ ベース(1) (初田担当)	①代表的な医薬品情報データベースを列挙し、それらの特徴を説明できる。 ②情報調査の段階的な流れを説明でき、主な2次資料、データベース・インターネットなどの調査の仕方を概説できる。	C15 (1)	知識・技能
11	講義	医薬品情報データ ベース(2) (初田担当)	①医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる。 ②インターネットなどをを利用して代表的な医薬品情報を収集できる。	C15 (1)	知識・技能
12	講義	医薬品情報の臨床 活用 (初田担当)	①質疑内容の種類に応じて利用する情報源の違いを概説できる。 ②病院における主な能動的情報提供法を説明できる。	C15 (1) 独自	知識
13	講義	基本的な患者情報 (小川担当)	①薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。 ②患者情報源の種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。	C15 (2) S601 S602 S603	知識
14	講義 演習	医薬品情報および 患者情報を利用した 患者指導の実践 (1) (小西担当)	①インフォームドコンセント、守秘義務などに配慮する。	C15 (2) S601 S602 S603 独自	知識 技能 態度

			②適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。	C15 (2) S601 S602 S603 独自	知識 技能 態度
			③医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。	C15 (2) S601 S602 S603 独自	知識 技能 態度
15	講義 演習	医薬品情報および患者情報を利用した患者指導の実践(2) (小西担当)	①患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。	C15 (2) S601 S602 S603 S604 独自	知識・態度
授業方法					
一般 目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
C15(1) C15(2)	講義	講義室	3(1)	配布資料 パワーポイント	90分X13回
S601 S602 S603 S604	演習	講義室	3(1)	配布資料 パワーポイント	90分X2回